

第1学年 総合的な探究の時間～11月～

ねらい：龍ヶ崎市の若者の流出を食い止めるには？

本日のTODO ～いよいよ課題解決！～

- ① ひととはなぜ引っ越すのか？
- ② 15～19歳の人口を増やすにはどうしたらいい？

2組から生配信！2組生徒が大活躍しました！

NO9 探究 RESASを使ってみよう④

目標：①ひととはなぜ引っ越すのか？ ②15～19歳の人口を増やすにはどうしたらいい？

【前回】龍ヶ崎市の人は何歳で来て、何歳で出ていくのか

国勢調査の結果から、年齢別コーホート分析を行って、人口の推移を調査した。

①ひととはなぜ引っ越すのか

そもそも人口はどうやって調査しているのか？

①住民基本台帳…市役所等に、その市町村の住民として登録された(住民票)をもとに集計

→実際に住んでいるかより、どこに届け出をしているかが大事

※引っ越してから14日以内に住民票を移さないといけない

②国勢調査…5年に1度、10月に調査員が訪問して、回答する

→どこに届け出をしたかより、実際に住んでいるところを重視

統計の取り方によって、数は違う。(どっちの数字を重視するか？)

ライフステージの変化によって、人は引っ越しをする。

統計的に、人は(3)回引っ越す

→ざっくりわけると(進学・就職・結婚・子育て・老後)

②15～19歳の人口が市外に出ないためにはどうしたらいい？

この年代は(進学・就職)をする世代である。会社や大学を作ればいい…？

例) 1. 進学・通勤の補助をする。

市外に通学/通勤する生徒に対し、(定額)等を出す。

2. 学費の補助をする。

市内在住の若者に対し、返済不要の奨学金を給付する。奨学金の条件として

「卒業後、〇年間は市内に(居住・就職)すること」などを設定する。

3. 教材費・通信費助成

市内居住の学生に対し、学業に必要な教材費、オンライン授業用の高速通信費用などを
支援金として定額(例：年3万円)を支給する。

市外に出さないようにするために市町村はどんなことが出来る？実現可能な方法・抜け道を作らないよう
考えてみよう。

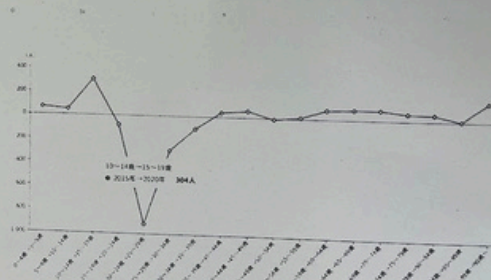
1年間または入学から卒業まで市に住み続けてくれた方
に支援金や商品券を届ける。(国勢調査から)

引っ越しの理由
どんな所へ引っ越す？

龍ヶ崎市は
+? -?

人学生 大学院生	19～22歳 74～77歳	・学校に近い所 ・駅の近く	—
就職	19～23歳	・家賃が安い所	—
結婚	27歳前後	・お互いの職場に 近い所	—
子育て	30歳前後	・子供が育みやすい (学校や公園がある) ・子育て支援がある ・土地が安い ・広い家を持つ	—

年齢別移動数の時系列分析
国勢調査データ



全4クラスに生配信！
他クラスとも対話しながら進みます。
各担任の先生のリアクション👏に感謝！



2組の生徒が積極的にカメラ前に立ち、
クイズに答えたり、意見を発表してくれ
ました。和やかな雰囲気は他クラスにも
伝わっていききました。

来週は、
龍ヶ崎市役所の方が出前講座！ワクワク！